

## 中根小学校区タウンミーティング議事録

令和4年7月22日（金）10:00～11:50 本庁舎第3・4会議室

- 1 市長挨拶
- 2 市側及び行政区側出席者紹介
- 3 市政情報のご案内
  - ①交通安全対策事業・牛久駅西口改修事業について
  - ②ひたち野リフレ市役所窓口開設の進捗状況について
  - ③牛久市消費生活センターについて
- 4 行政区の意見等話し合い

### ～市政情報のご案内～

びゅうパークひたち野行政区：ひたち野リフレ市役所窓口開設について、広報紙の何月号に掲載されるか。

総務部長：8月に改修工事が開始され、進捗状況によりオープンの日をお示しできると思う。9月、10月の広報紙には掲載できると思う。

びゅうパークひたち野行政区：取り扱う業務内容について早めに周知いただきたい。

総務部長：業務内容や窓口エリア等を詳細にお示しする。

ひたち野行政区：リフレの4階は今まで通りの運用をするのか。

総務部長：4階は会議室があるが、今まで通り市民の方へ貸し出しをしていく。

ひたち野行政区：当行政区は、敬老会や自治会の総会は多くの人が集まるため、それなりの広さが必要である。以前は4階の会議室で開催していたが、難しくなったため、現在は2階の全面を半日借りて開催している。今後は利用が制限されるのか。

総務部長：2階部分はリースペースとして学習スペースや市民の方にくつろいでいただけるような計画でいる。3階は有料での貸し出しを計画しており、土日でも夜9時までの貸し出しを検討している。敬老会等でご利用いただくのは難しい。4階の会議室は使用できるので、そちらを検討いただきたい。

ひたち野行政区：高齢者が増加し対象人数が増えるので、2階を使用できなくなると敬老会の対応を考えていかなければならない。このような状況にあっても利用できないということか。

総務部長：土日でも窓口を開設する予定であるので、ご利用は難しい。

～行政区の意見等話し合い～

びゅうパークひたち野行政区：二所ノ関部屋が阿見町に開所されたが、元稀勢の里関は牛久市市民栄誉賞を授与されていることもあり、市はどのような関りを持っていく考えであるか。相撲部屋を見たい方が多くいる中で、個々に部屋に依頼するのは迷惑になる。小中学校などで力士をお呼びしたいということが出てくるかもしれない。市が窓口となりルールづくりをしていただければ、地域との交流が図られるのではないか。

市民部長：以前は、旧稀勢の里関後援会が市民活動課内にあった。後援会は、令和2年3月に解散しており実態としてはなくなっている。当時の後援会の残金があり、解散にともなう総会の中で、新たな相撲部屋の開所に役立ててほしいとの意向から、開所式で後援会長の代理として根本市長から二所ノ関親方へすべて残金をお渡ししている。現在は、直接部屋とコンタクトを取る部署がない。所在地が阿見町であるので、阿見町で企画やコーディネートを進めている。二所ノ関親方自身も地元で恩返しをしたいというお気持ちがあるので、具体的にどう関わっていくかは決定していないが、さまざまな部屋のイベントが実施される際は、阿見町と協働していければよいと思う。

市長：部屋の開所にあたっては、なぜ阿見町に建設するのか等さまざまなご意見をいただいたが、私自身知らなかった話であり急であった。後援会会長も阿見町に建設することには驚いていた。議会からは、西友前の道路に名称をつけてはどうかのご意見もあった。これから阿見町が中心になって他の自治体を巻き込んで事業やサポートをされるものと思う。建設された場所がなぜ阿見町なのかという議論をするのではなく、牛久市としても積極的に協力をしていきたい。後援会の残金も、地域のイベントにおいて活用いただければという思いでお渡しした。これからの部屋の繁栄を祈り、一日でも早く活躍される力士の育成に努めていただきたいと思っている。

むつみ行政区：敬老会の対象者が増え、去年は150名、今年は192名である。敬老会は、会館で実施しており飲食の提供があることから参加者も多い。一度に70名ほどしか収容できないなかでも何とか実施してきたが、現実的に難しくなっている。3回に分けて実施すればいいのではという意見もあるが、飲食の提供をなくして式典のみにしても、開催する側の負担が大きい。別の会場で開催するにしても、会場に来られない方もいる。行政区内でできることをやっていくしかないと思っており、これ以上、市に何かをお願いするつもりはないが意見を出させていただいた。運動会や、かつぱ祭りの踊りパレード参加など、班長の負担が多く、行政区をぬけてしまう方がいるので、負担のないようにしている。市の回答を参考に、行政区でできることを考え

ていく。

高齢福祉課長：敬老行事については、高齢者の増加にともない各行政区において実施方法等のご苦勞があるとお聞きしている。市としては、各行政区で実施される事業に対して、交付金という形で後押しする方が各地区の実情や風習、習わし等も踏まえて考えるとよいのではないかと思っている。市が行う敬老事業については、現状では100歳と88歳を対象とした敬老祝い金を支給する事業と、各行政区が行う敬老事業に対する交付金事業の2事業である。このような事業に整理されるまでの経緯としては、概ね平成初期の頃までは、市内1か所で敬老大会として開催していたが、さまざまな身体状況の方がおり、不公平ではないかのご意見や、式典や講演会を実施しても参加者をはじめ、ご家族の満足につながらなかった。さまざまな検討と協議をした結果、身近な行政区単位での実施となった経緯がある。市からの祝い金や記念品についても、配布方法や内容などについて賛否両論があり、数年にわたり変更や検討をした結果、市から祝い金は口座振込での支給とし、記念品については廃止とさせていただいた。行政区での実施は、地域での祝賀行事により交流の輪が広がった。令和2年度からは、新型コロナウイルスの影響により、大会の開催に代わる方法で趣向を凝らし、高齢者に対しさまざまに敬意と祝意をお伝えしていると聞いている。感染症の問題や対象者の増加、会場スペースの問題、地域との関りに対する考え方の違いなど、これまでと大きく変化していると承知している。高齢者を敬う気持ちや長寿を祝う気持ちは大切にしなければならない。どのような方法で行われるのがよいかということについては、ご意見をいただきながら、引き続き検討していきたい。

栄西行政区：第二次避難場所が中根小学校になっているが、当行政区から小学校へは道が狭く高低差があり、高齢者は行きつけない。小学校へ行きつく他の道がないので、万が一の時は、希望する高齢者だけでもまっすぐな道で避難できる中央生涯学習センターや市役所に避難させていただけないか。福祉センターは遠方にあり、高齢者は行きつけない。水や食料を持参しての避難はできないので、応援物資に頼ることになると思う。避難所に備蓄品が何もないというのは本当であるかと聞かれたことがあったが、市からの回答を見て、十分な備蓄品はないとのことと不安になった。各自3日分程度の食料は持参できても、避難生活が2・3週間かかると思われるので、その間の食料はどうすればいいのかとってしまう。当行政区は空地があまりないので、テントを設置できない。

市民部長：災害に対する不安は大きいものであり、ご意見はごもつともであると思う。市では地域防災計画を定め、市全体の状況を見て災害に対する計画を立てている。大災害時の長期避難場所においては、小・中・高等学校を想定

している。必ず中根小学校へ避難しなければならないということではなく、近隣の行ける場所へ避難するようにという案内をする。高齢者等の配慮が必要な方については、福祉避難所を設けている。福祉センターは遠方にあるが、牛久運動公園武道館等も新たな福祉避難所として開設する予定である。市が全市民分の備蓄品を調達するのは現実的に難しい。現状にある備蓄品と、災害協定を締結している相手方からいただける備蓄品、自衛隊からの援助等の想定はしているが、全市民への供給は困難であると思う。災害発生から行政が避難場所へ行き、避難者の対応ができるのは3日を過ぎてからかと思われる。特に、職員自体が被災してしまう激甚災害の際は、そのようなことが想定されるので、自分の身は自分で守ることをお願いしたい。自身で身の安全を確保することが困難な方は、行政区のご協力をいただきながら、市もサポートさせていただきたいと思っている。

市長：先日、職員を対象に災害発生を想定した夜間参集訓練を実施した。まずは自身と家族の身の安全を守ることが第一であり、その次に助けを必要としている方に手を差し伸べることが大切であると思っている。避難所は、必ず指定された場所へ行かなければならないものではないので、臨機応変に対応いただいてよいと思う。隣接するつくば市や龍ヶ崎市、阿見町とは災害時の協定を結んでおり、実際に、つつじが丘行政区は、つくば市と隣接しているので独自に協定を結び、協力体制を構築している。災害時は助け合うことが基本である。おそらく牛久市は水害のおそれはないと思われるが、利根川や小貝川が氾濫し水害が発生した際は、河内町の町民を受け入れる災害協定を結んでいる。神谷傳兵衛にゆかりがある愛知県西尾市や、親善友好都市である宮城県色麻町などで災害が発生した際は、協力し合うことになっている。防災について一つひとつ考えていく必要がある。

ねむの木台行政区：安否確認の要領について、在宅避難が第一とのことで行政区内において防災訓練を実施した。第二次避難場所が安全かと思うが、収容人数に制限があるため争奪戦になると思う。行政区内で避難場所を選定し対応するほかないと感じた。

びゅうパークひたち野行政区：今回の参議院議員選挙期日前投票から、立会人に関しては半日交代が可能となり助かった。今後も継続いただきたい。現在、選挙当日の投票時間は午後8時までだが、全国で37パーセント、茨城県では牛久市と守谷市だけが午後8時まで実施しているので、時間の繰り上げをしていただけないか。選挙管理委員会は、終了時間間際に投票に来た方もおり、少し投票率が上がったとのことで、時間の繰り上げには慎重な考えのようであった。立会人は、当日朝6時半に集合し、13時間従事する。立会人の負担軽減もあるが、開票事務がある職員もいるので考慮いただきたい。

市長：立会人や職員の負担軽減も考えなければならないが、期日前投票が浸透している。選挙管理委員会や議会と話し合い、しかるべき時期が来たら繰り上げての実施になるかもしれない。

ひたち野行政区：中根小学校区の行政区民は多く、避難所としての機能は難しい。ひたち野地区などの新しく建設された住宅は耐震性が高いので、自宅待機してもらえるように市からマニュアルをつくりアピールすれば、行政区からも周知しやすい。

市民部長：避難所に避難いただく方は、基本的に自宅が倒壊・損壊している方である。それ以外の方は、安全を確保したうえでできれば在宅避難をしていただきたい。体育館は場所が限られているので、テントをグラウンドに設置し開放する計画である。高等学校も避難場所として開放する予定であるので、自宅で避難できない方はそちらもご利用いただきたい。

大中行政区：さくら公園の道路にガードパイプを設置いただいたが、道路幅が狭くなった。なぜ道路を広げてガードパイプを設置しないのかと住民から言われた。国道6号から中根地区に入る踏切部分に待避所を設けてほしいとの要望を実現いただき、感謝申し上げます。

下根行政区：10年特例で住宅を建設し住む方が増えている。当行政区に住むにあたり、住む方に対して規約や条例、誓書をもらうなどはあるか。

建設部長：既存集落で住宅が建設される際に、行政区に加入するという誓書ももらうということか。

下根行政区：市から区長に対して依頼されることが多くある。行政区に加入せず、地域のことには参加しない方もいるなかで、行政区の負担が大きい。10年特例は市が認めており、新しく住む方も排水や道路が整備されていないことなどを理解して移り住んでくるのであるから、制約を設けてもよいのではないか。例えば、行政区の行事に参加しなければ住めませんというように、行政区のルールを理解し承諾を得るために一筆もらってもよいと思う。新しい住民に対して、区長や他の住民に迷惑がかかっている。市はどのように考えていくのか。条例等があるのであれば、ホームページで調べる。

建設部長：一般的に市街化調整区域内で、建築が抑制されている場所において一定期間住んだ方が、その地域に新築することができる許可条件を使用し建築している。下根行政区内の住宅から申請があり、市が許可し住宅を建設している。住宅を建設する際の条件はあるが、先ほどご質問があった内容については一筆もらっていない。条例にも記載されていないが、許可を出すにあたって代理業者には行政区加入の案内をしている。許可条件としているわけではないが、申し伝えている。

下根行政区：申し伝えているのはわかるが、発信しているだけで、どう行われて

いるかは把握していないと思う。これからどうしていくのかを考えていただきたい。他の行政区でもこのようなことがあると思うので話を伺い考えてほしい。行政区に加入してもらわないと、市も困るのではないか。

秘書課長：行政区への加入問題は、先日のタウンミーティングでも話題にあがり、難しい課題であると意見を交わした。

市長：非常に結論が出しづらい。

秘書課長：平行線になってしまいが、ご意見を真摯に受け止めて、今後も取り組んでいく。

一厚西行政区：アパートの住人に行政区へ加入していただくのが難しい。以前は、アパートも班を組んで行政区に加入していたが、1世帯が加入なくなると、他の世帯も加入しなくなった。市長が言うように、この問題は非常に難しい。日本赤十字社への寄附もそうだが、任意となると支払わなくてもよいという考えの方がいる。班長でもそのような方がおり、やりづらい。交通安全対策について、道路を整備いただき感謝する。一厚西から中根小学校は遠いので、避難所として開設されても収容してもらえないであろうと思っている。無理な要望であるが、猪子からねむの木台へ渡ってひたち野へ行ける道路を整備してほしい。一厚西行政区は、どの小学校へも一番遠方にある。道路が整備されれば、将来的にひたち野地区の小・中学校へも行きやすくなる。

一厚東行政区：一か月ほど前に警察から電話があった。朝の立哨時、一厚踏切から陸橋下の通学路に伸びたツタを、パトロールしている方が線路に投げたということであった。陸橋の上から見ている男性がおり、警察から私に連絡がかかってきた。翌日、現地を確認したが、市に連絡すれば道路部分のツタは管理していただけるか。それとも行政区でやるものであるか。線路内のことであるので、JRに電話してほしいと警察には伝えたがJRに連絡したかは分からない。

建設部長：おっしゃる通りで、JRの管理であると思う。線路にツタを投げるのは、事故等の危険性があり大変な事態を招く恐れがあるのでやめていただきたい。道路にはみ出しているツタの場合、道路整備課にご連絡いただければ対応する。

一厚東行政区：中根小学校で行った防災訓練時の説明では、物資の保管場所は、牛久栄進高校であるとのことであった。中根小学校へ避難するにも安全が確認できてからになるので、まずは行政区内でスーパーの駐車場などに避難することが必要であると話し合っている。一厚東行政区に公民館を建設したいと思っているが、市の予算の関係で計画が伸びている。猪子住宅のなかに建設予定地を確保するところまで話は進んでいるので、早急に対応いただきたい。区費を積み立て、ある程度金額を貯めたので建設したいと考えている。

小学校区に関して、中根小学校がほとんどであるが、牛久第二小学校と、神谷二区行政区は岡田小学校が大多数で、3つの小学校が入り混じっている。子供会のメインは中根小学校で、つながりがないため引っ越してきた方が行政区を抜けてしまい困っている。行政区を退会しても、ごみ集積所の管理を行っていただければいいが、そうではない。市から指導してもらえるのか。集積所の管理は使用する者の義務であるので、相談に乗ってもらえるか。

環境経済部長：条例の中でも決められているが、集積所の管理は、使用する地元の方をお願いをしている。行政区に未加入であっても、集積所の清掃などは当番で参加いただき、ごみ飛散防止ネットなどを購入して使用している場合は、費用を負担いただくなどのご協力をいただきたいと思います。それを市が指導するのは難しい状況である。

一厚東行政区：行政区未加入者からは、「税金を払っているから、どこにごみを出してもいいだろう」と言われてしまった。

むつみ行政区：高齢者への政策に加えて、若い世代や子育て世代への政策を進めてほしい。若い方にお金を使っただけのように、市をアピールしていただきたい。防災に関して、むつみ行政区は牛久さくら園と協定を締結しており、災害時に敷地を利用させていただけるようになっている。猪子行政区が防災広場をつくらうとしているので、建設された暁には、そちらとも協定を締結させていただきたいと考えている。

猪子行政区：避難所である中根小学校まで高齢者が歩いて避難するのは難しいので、行政区で解決しなければならない問題であると思っている。以前から提案しているのは、防災広場である。消防団組織も、1つの行政区では対応できないので、人とお金を出し合い運営をしている。防災の点でも活用できないか。自分たちでもお金を出し合い食料の貯蔵庫の建設や、人員を確保するシステムを構築できないかと近隣の区長に声をかけている。防災広場の場所は、区民会館向かいの山林をどうにかできないか、以前から市に相談している。2019年6月11日に現地を案内し、状況は理解いただいているはずである。あとは決断とお金の問題。むつみ行政区、一厚西行政区、栄西行政区、竹の台行政区の住民を受け入れるだけの体制をつくれるのではないかと考えている。5m道路を整備してほしい。資料を配布する。道路問題と防災問題は切り離せない。各行政区が協力し合って、お金と人を出し合えば大きく前進するという提案である。道路や雨水の問題を解決し、皆さんに使用していただけるよう2000㎡ほどの防災広場をつくっていただきたい。地主の同意も得ている。前市長から、周辺整備を行うので牛久愛和総合病院につながる道をつくらせてほしいとの話があり、条件を守ってくれるならよいと臨時総会で話がまとまった。整備が遅れてもいいので、確約がほしい。現実を直

視しなければいけない。猪子踏切から、愛和病院の十字路まで測量が開始された。1年かけて設計し、地域住民に同意を得るという流れだというのは、建設部から話を受けており住民にも説明している。猪子踏切から国道6号までの道路は、ブロック塀に挟まれる狭い道である。現場確認から3年が経過しているが、どう解決するのか。新しい道路が整備されるのは、早くても7・8年先である。その前に危険な道路は整備してほしい。雨天時は、傘をさした小学生が車に接触しながら通学している。100mほどのブロック塀を壊して、2mくらいの歩道を整備していただけないか。地主は了承している。防災広場へ向かう道は広くないと、雨風の日に避難するのは危険である。消防車も入ってこれないほどの狭さである。区民会館に80名収容できる体制を整えているが、大きな場所があれば避難できるというのは違う。災害時、住民が安心できるスペースを確保していないと大きな災害になる。毎年タウンミーティングを開催しているが、解決につながっている事案はない。前向きにレベルアップできるような案を市と行政区で考えたいと思っている。

11時50分 閉会